

2005年2月10日

各単位組合委員長 様

新潟県教職員組合

執行委員長 澁谷 一 男

新潟県高等学校教職員組合

執行委員長 有坂 勝

新潟県中越大震災に際してのお礼

日頃の取り組みに敬意を表します。

さて、昨年の新潟県中越大震災に際しましては、心温まる励ましのお言葉や多くの義援金、救援の品々をお寄せいただき、誠にありがとうございました。また、全国各地からボランティアとして多くの方々からご支援・ご協力をいただいたことに対しましても改めてお礼申し上げます。

すべての学校で教育活動が再開してから3ヶ月が経過し、子どもたちや教職員も生活の安定や明るさを取り戻しつつあります。しかし、被災地である中越地方は19年ぶりの豪雪に見舞われ、雪による家屋の倒壊など、2次的な災害も起こっています。また、仮設校舎や他校の校舎を使用している学校、校地内に仮設住宅が建てられている学校も多くあり、平常の教育活動を行うには、まだ時間がかかりそうです。さらに、被災時の恐怖や環境の変化によるストレスを抱え、不安そうな表情を見せたり、落ち着きがなくなったり、様々な退行現象が見られたりするなど、教育的配慮を必要とする子どもたちがいることも報告されています。こうした子どもたちや学校に対する継続的な支援の必要性を強く感じているところです。全国の皆様からいただいたお気持ちを大切に、今後も復興に向けて、子どもたちや組合員を全力で支援して参ります。

お寄せいただいた義援金は、被災した子どもたちへの支援や組合員への見舞金として大切に使用して頂く予定です。本来であれば直接伺ってお礼を申し上げるべきところでございますが、まずは書中をもってお礼とさせていただきます。